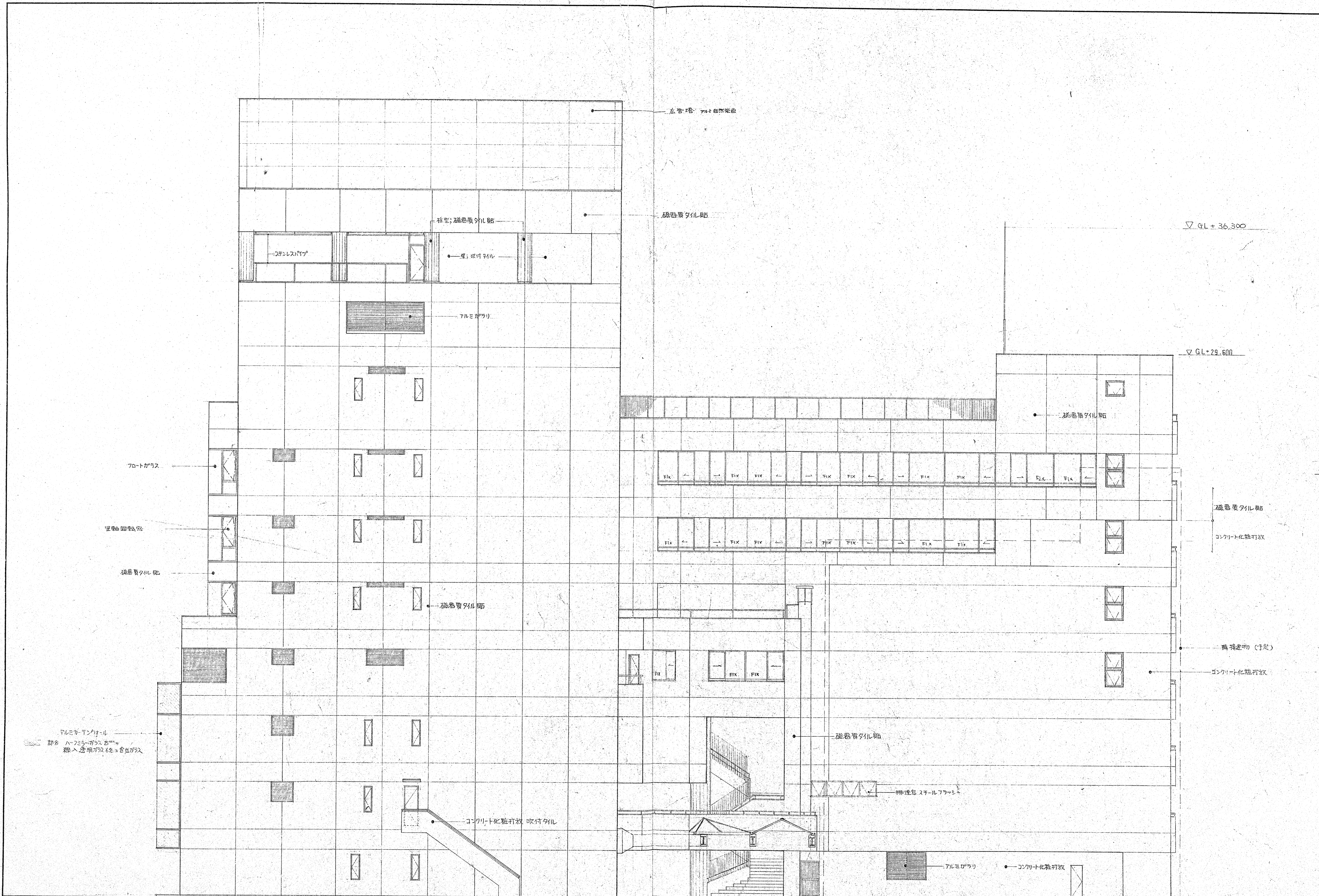


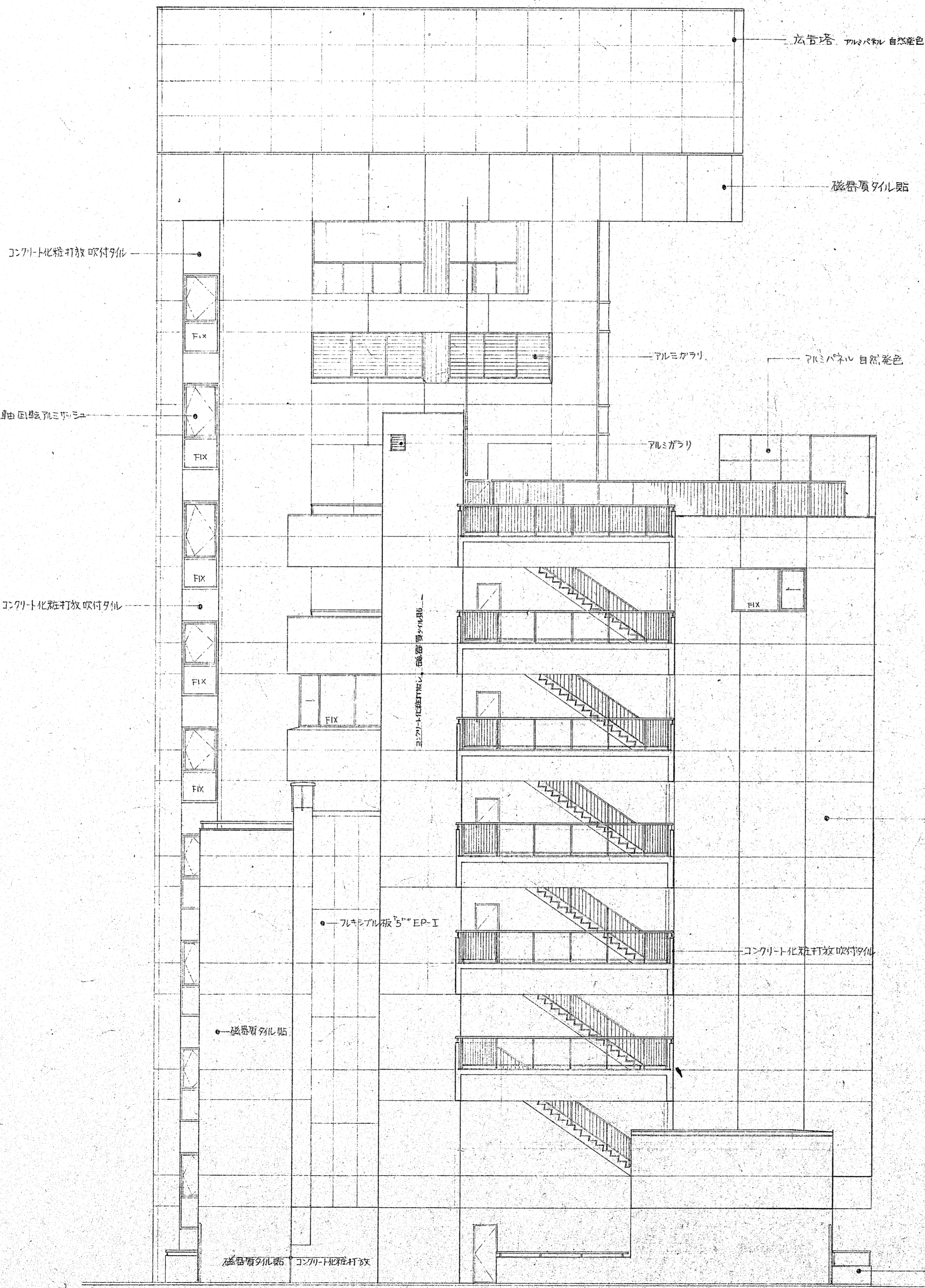
施工	53. 1. 16	54. 11. 17	54. 11. 15	54. 9. 17
竣工	55. 7. 30	54. 11. 17	55. 7. 11	54. 8. 6
監理	54. 11. 17	54. 11. 22	55. 6. 14	54. 8. 6
設計	54. 10. 4	54. 11. 9	55. 3. 29	55. 4. 4

780x570

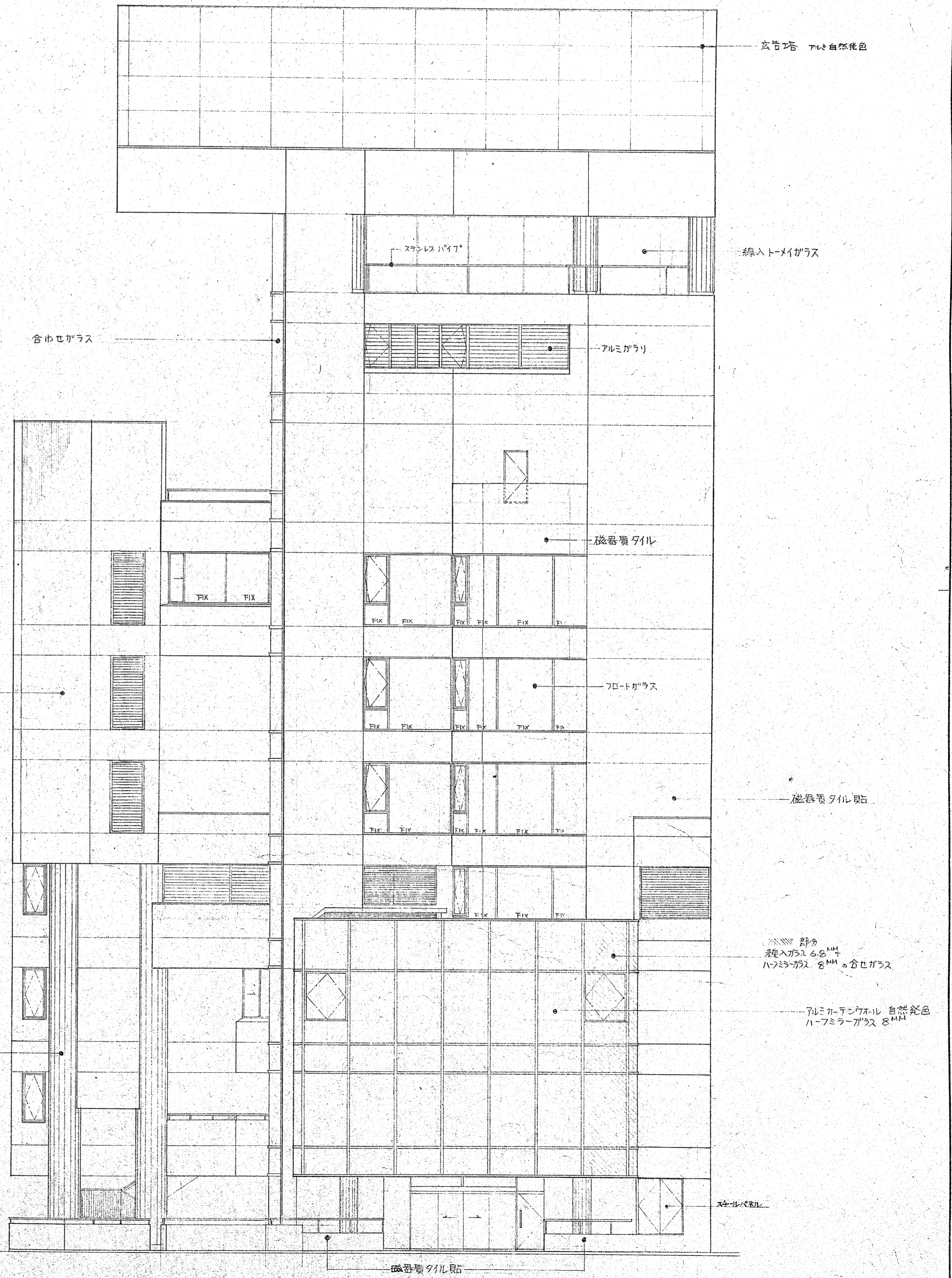


竣工	53. 1. 16	55. 4. 7	南側の壁面を透視 (1階部分)	55. 4. 4	全館の壁面タイル貼り完成
竣工	55. 7. 30	54. 11. 17	2階奥の壁面を透視 (2階部分)	54. 9. 17	外壁の磁器質タイル貼り完成
竣工		54. 11. 15	3階奥の壁面を透視 (3階部分)		
竣工			4階奥の壁面を透視 (4階部分)		
竣工		54. 9. 17	1階の壁面を透視 (1階部分)		
竣工		55. 3. 29	1階の壁面を透視 (1階部分)		

780x570



東立面図



西立面図

施工	53. 1. 16	54. 11. 17	11階内のD.S. 窓ガラリ取付 (1階)	54. 11. 22	磁器質タイル工事	54. 11. 9	11階内窓ガラリ取付 (自然発色) 変更
竣工	55. 7. 30	54. 11. 17	11階窓コンクリート取付	54. 8. 6	11階窓コンクリート取付	55. 3. 7	基礎地盤調査
監理	54. 11. 17	11階窓取付	54. 10. 4	11階窓取付	54. 11. 15	11階窓取付	
監理	55. 3. 29	11階窓取付	55. 7. 11	11階窓取付	54. 9. 17	11階窓取付	
施工	54. 9. 17	11階窓取付	54. 9. 17	11階窓取付			

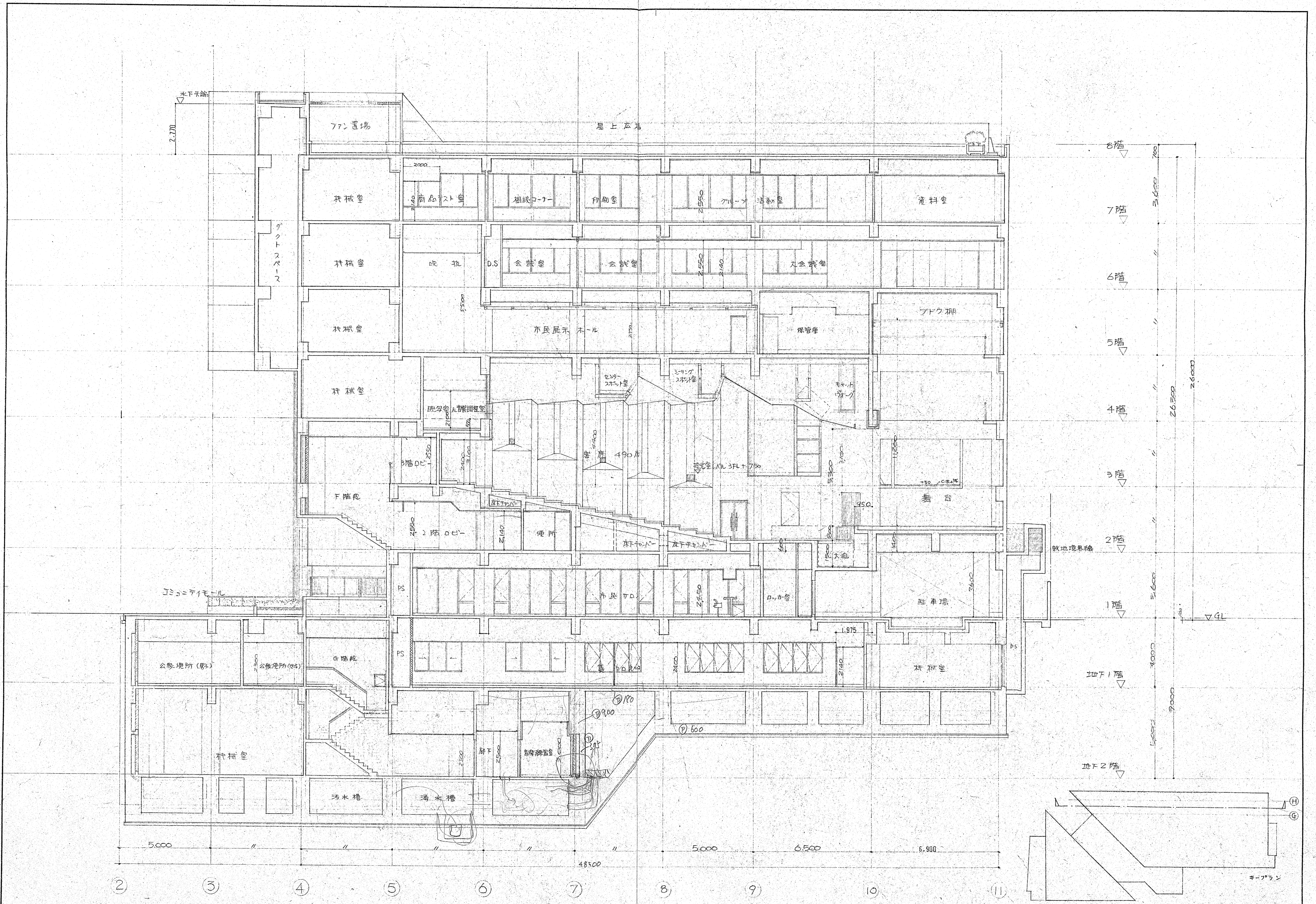
府中駅北口市民施設(仮称)新築工事



立面図(3) 東面、西面 1/100

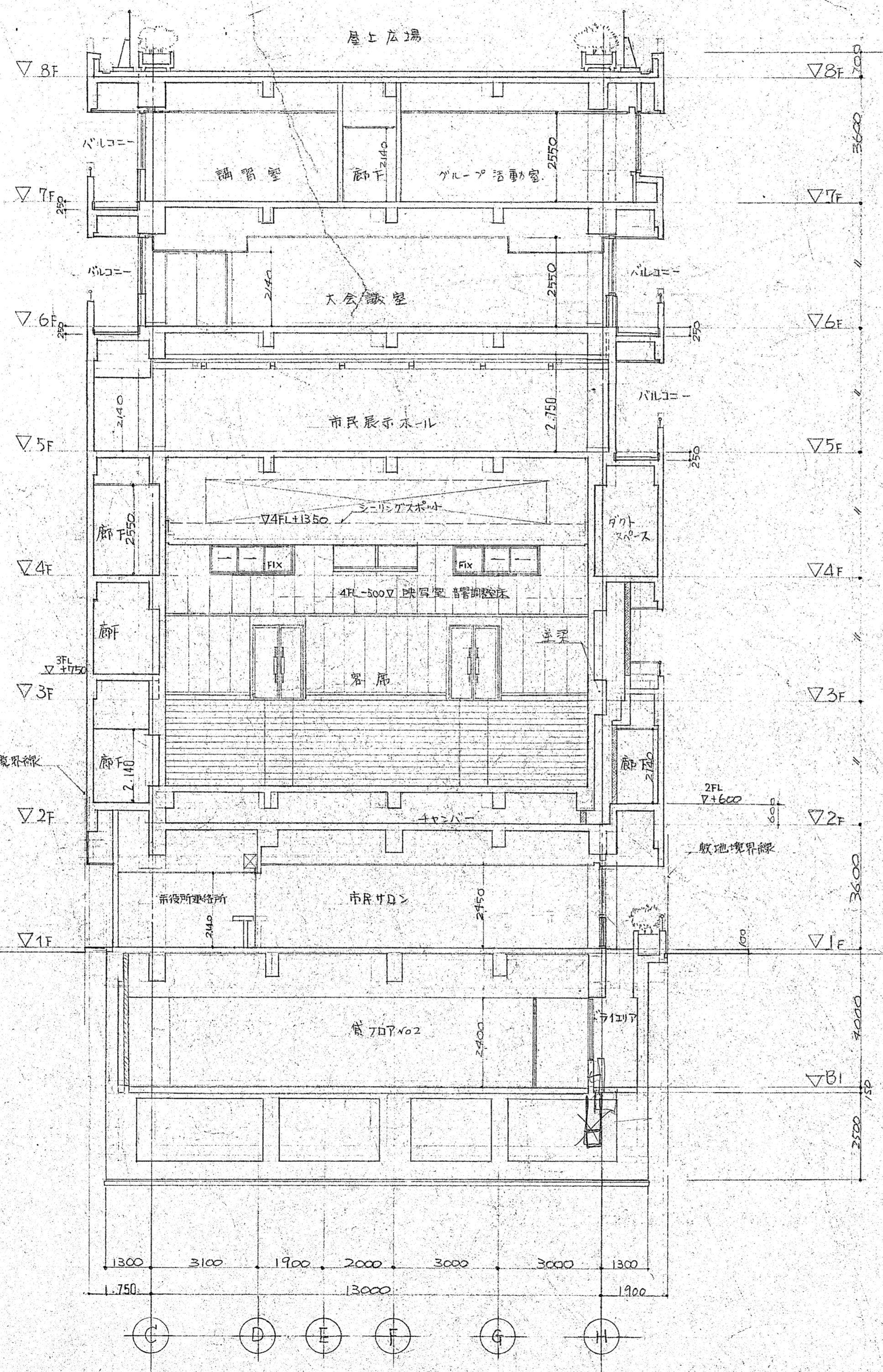
No. T-521122

780x570

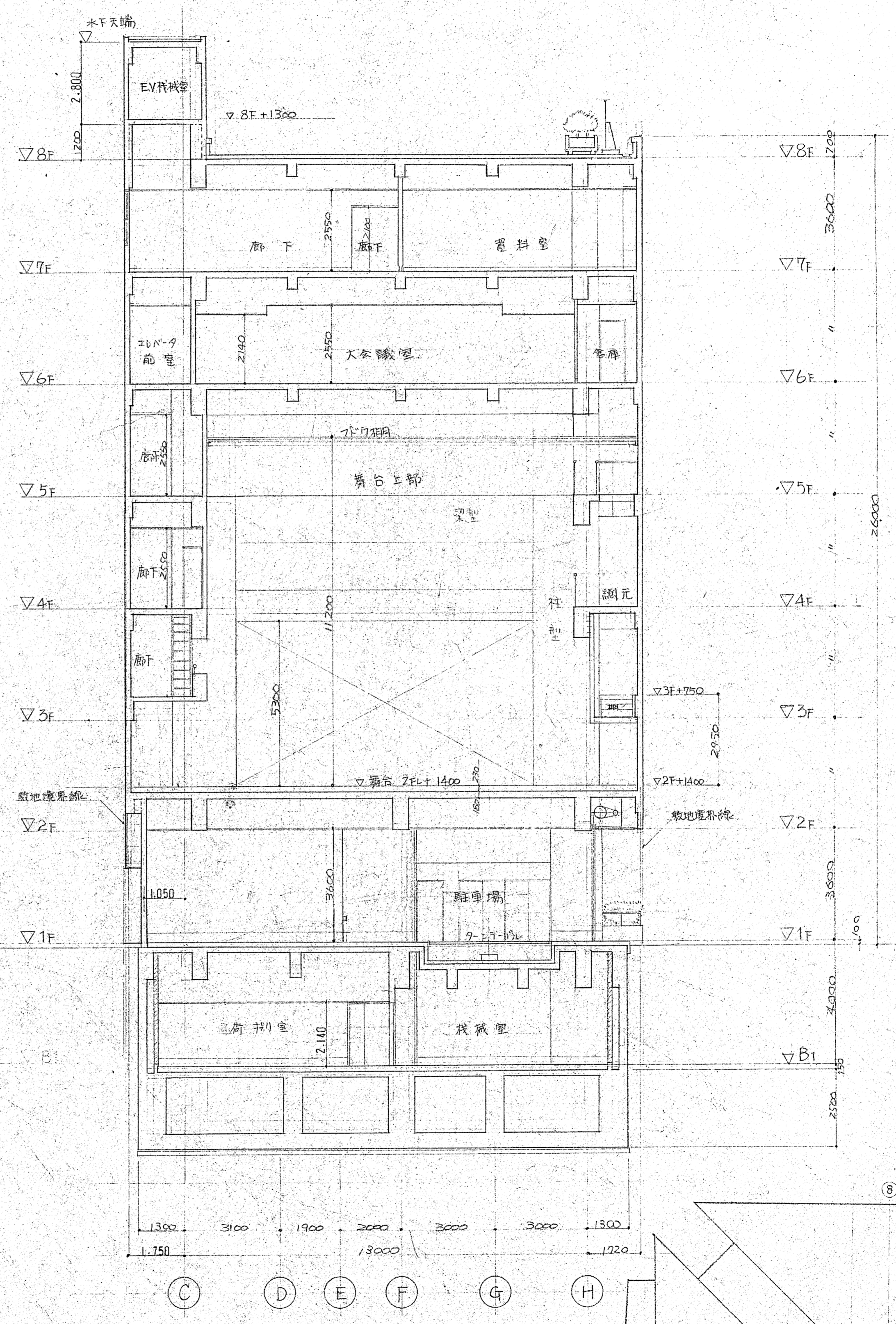


53. 1. 16	54. 4. 4	54. 11. 17	55. 3. 21	55. 6. 27
55. 7. 30	55. 2. 22	55. 5. 29	55. 6. 20	55. 5. 22
55. 6. 19	55. 6. 19	54. 11. 17	55. 4. 15	55. 1. 25
55. 3. 14	55. 11. 22	54. 12. 10	55. 12. 18	55. 6. 19
		55. 3. 18		

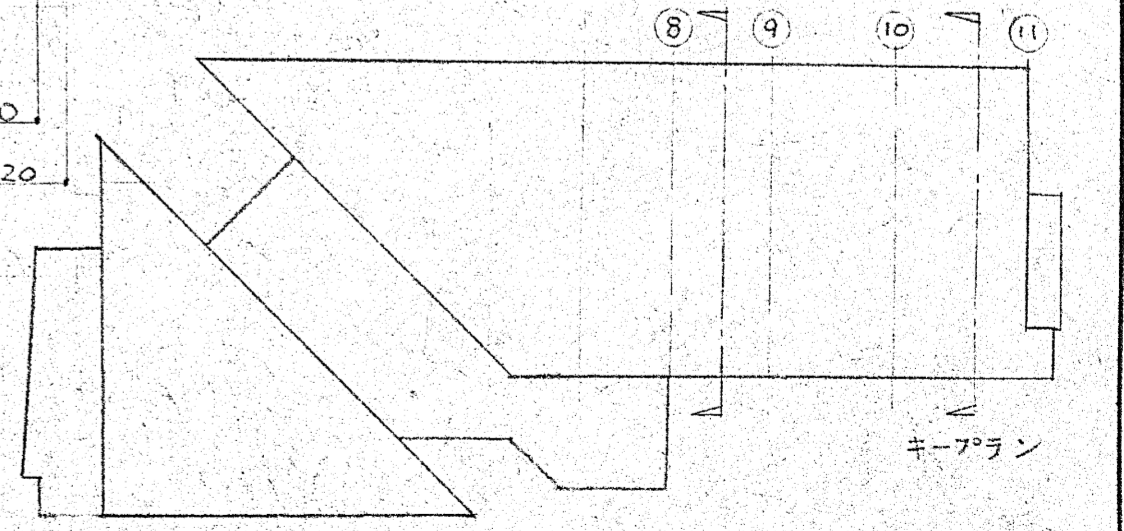
780x570



8-9間断面図

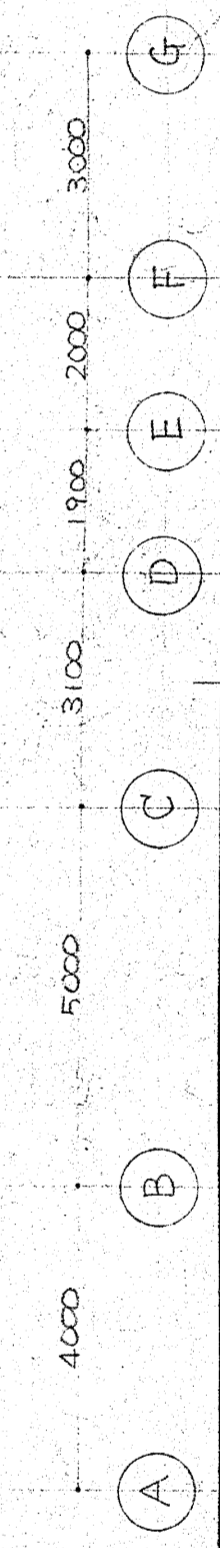
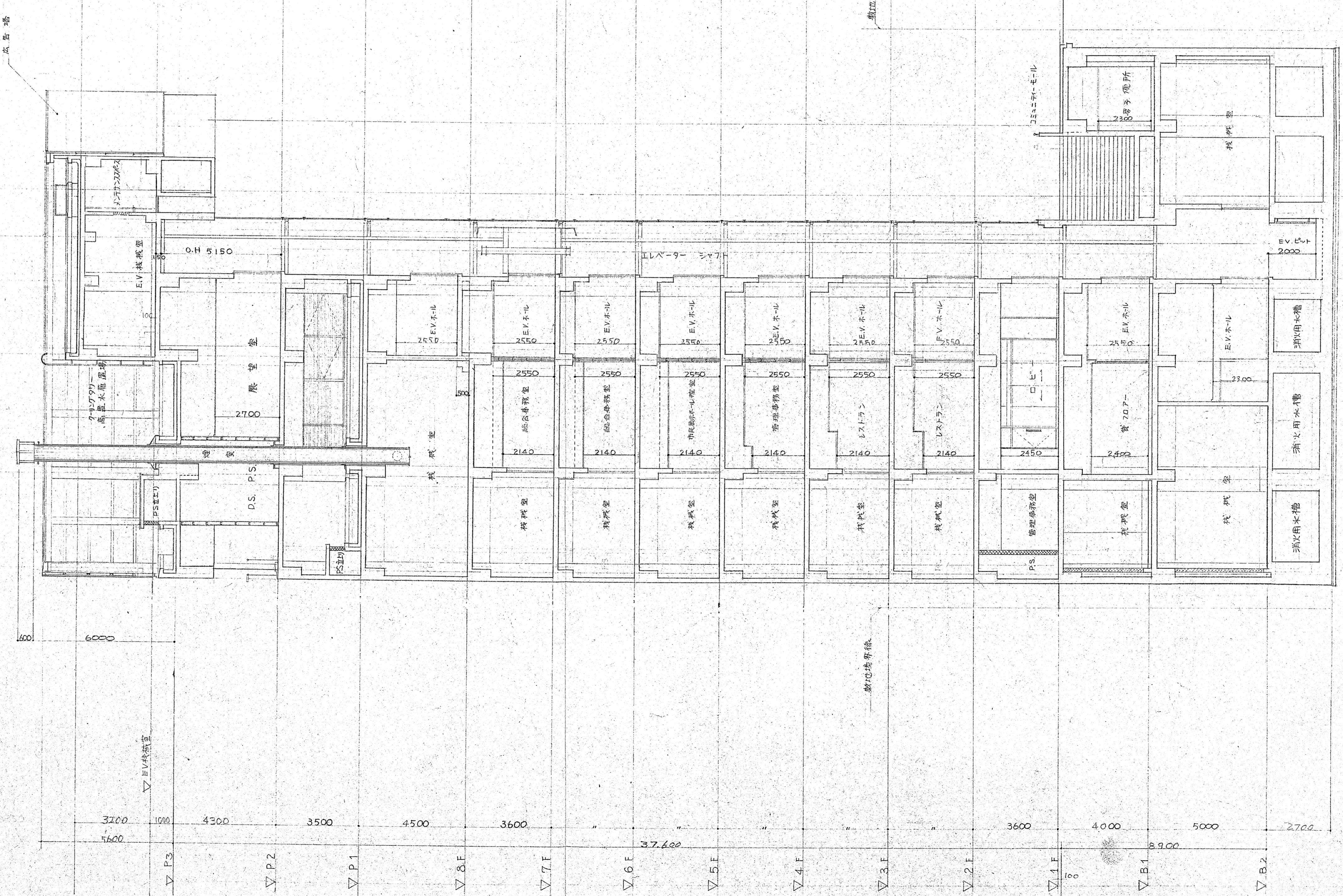
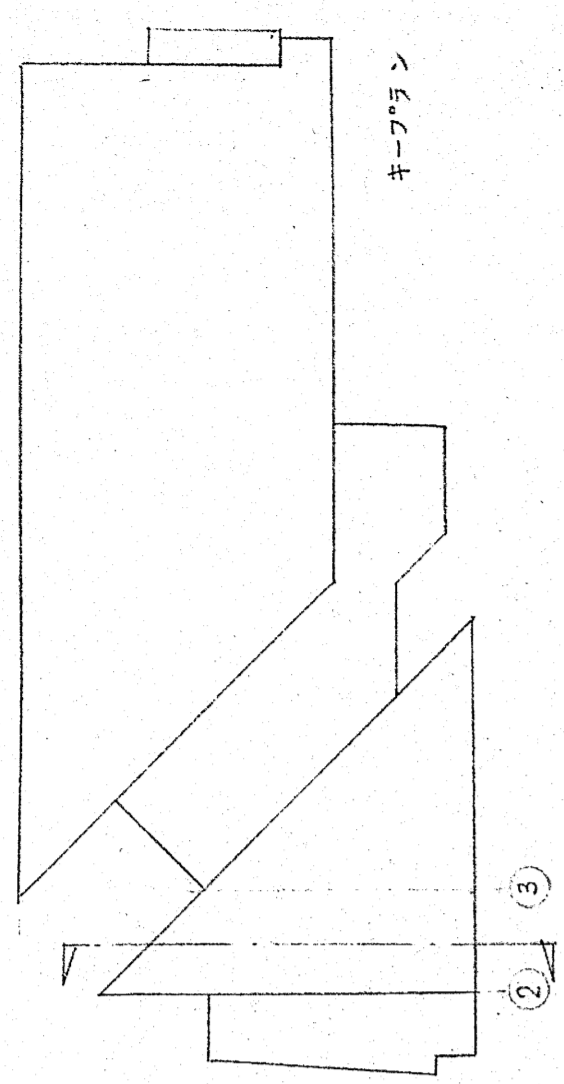


10-11間断面図



設計	53. 1. 16	55. 6. 19	第1次設計(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加	55. 1. 25	最終設計(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加	55. 3. 25	最終設計(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加
概算	55. 7. 30	55. 6. 19	概算(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加	55. 3. 25	最終設計(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加	55. 3. 25	最終設計(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加
概算	55. 2. 8	55. 2. 8	概算(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加	55. 5. 22	最終設計(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加	55. 5. 22	最終設計(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加
概算	55. 6. 14	55. 6. 14	概算(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加	55. 5. 16	最終設計(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加	55. 5. 16	最終設計(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加
概算	54. 11. 17	54. 11. 17	概算(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加	55. 4. 15	最終設計(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加	55. 4. 15	最終設計(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加
概算	54. 12. 18	54. 12. 18	概算(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加	55. 6. 19	最終設計(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加	55. 6. 19	最終設計(2)変更(1)に伴うスパン・フロアの追加

7.60x5.70



竣工	53. 1. 16	53. 11. 16	新設 府中駅北口市民施設(仮称)新築工事
竣工	55. 7. 30	53. 11. 16	新設 府中駅北口市民施設(仮称)新築工事
竣工	55. 4. 4	53. 11. 16	新設 府中駅北口市民施設(仮称)新築工事
竣工			

780X576



施工	53. 1. 16	54. 11. 15	55. 5. 20
竣工	55. 7. 30	55. 3. 7	55. 6. 27
監理	54. 8. 6	55. 6. 19	54. 11. 9
施工	55. 1. 9	55. 5. 22	55. 4. 4

府中駅北口市民施設(仮称)新築工事

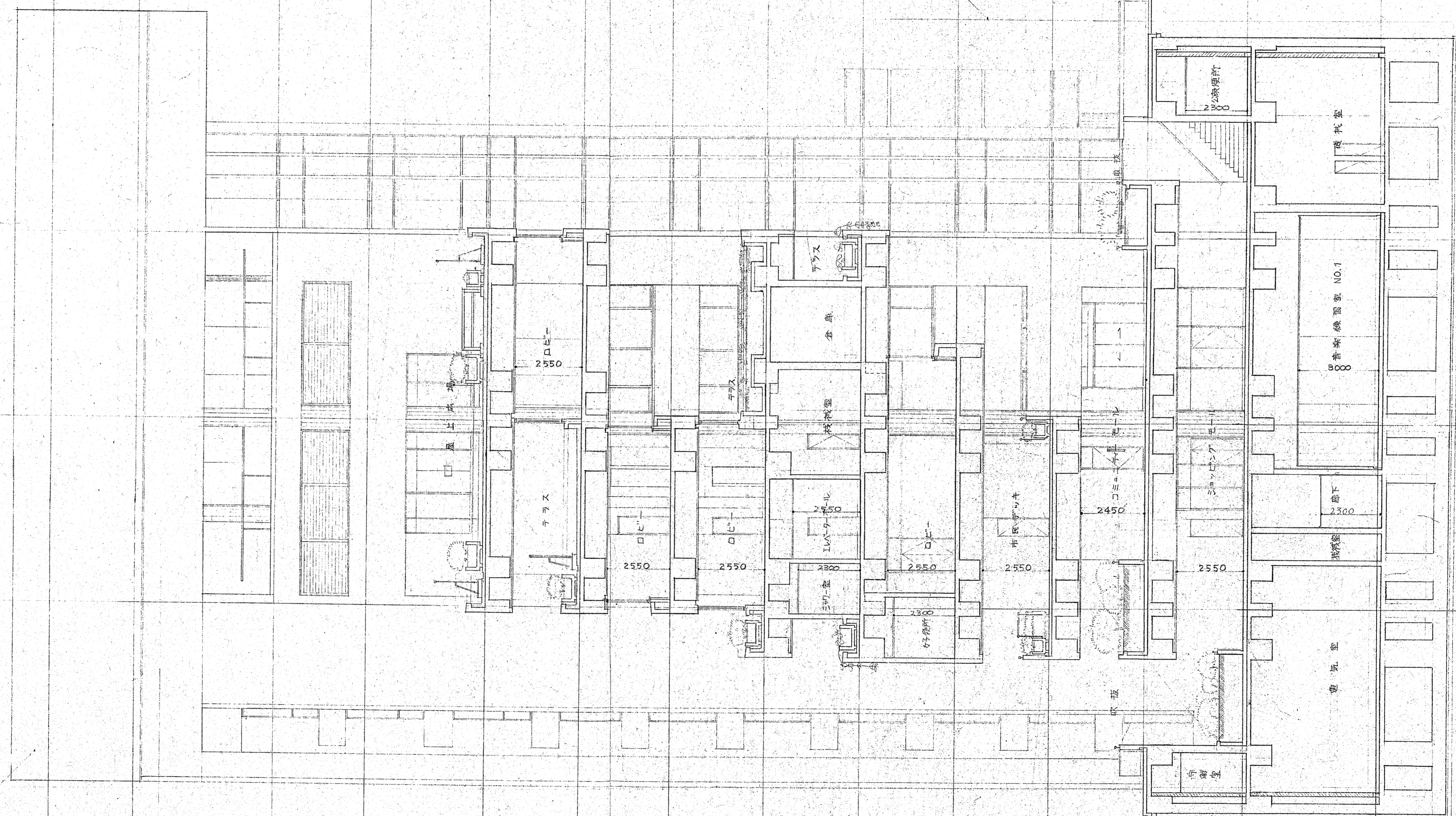
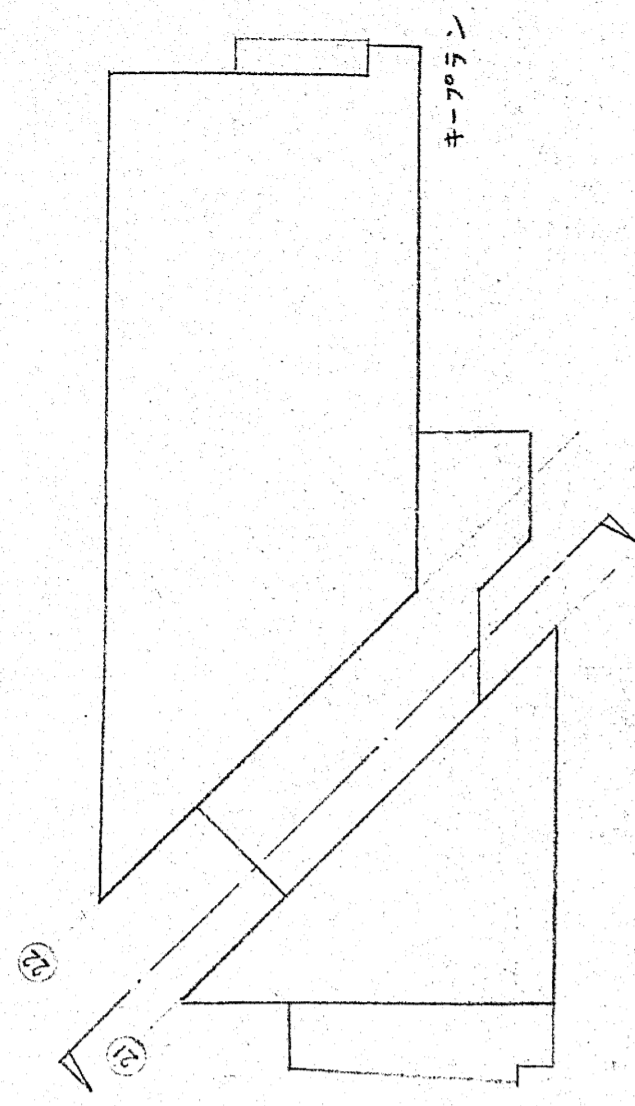
意

22

断面図(4) B~C向

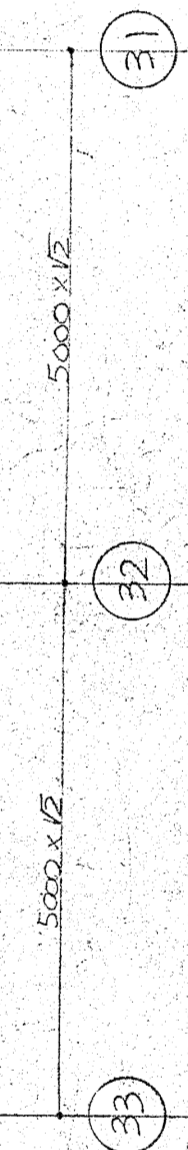
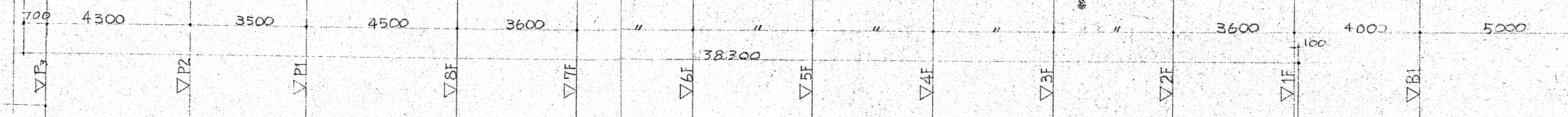
1/100

No. T-5211.22



改札機

改札機



施工	53. 1. 16	53. 3. 7	55. 5. 22
竣工	55. 7. 30	53. 10. 16	54. 11. 15
監理	由 20 岩 井	54. 11. 9	55. 1. 25
施工	55. 4. 4		

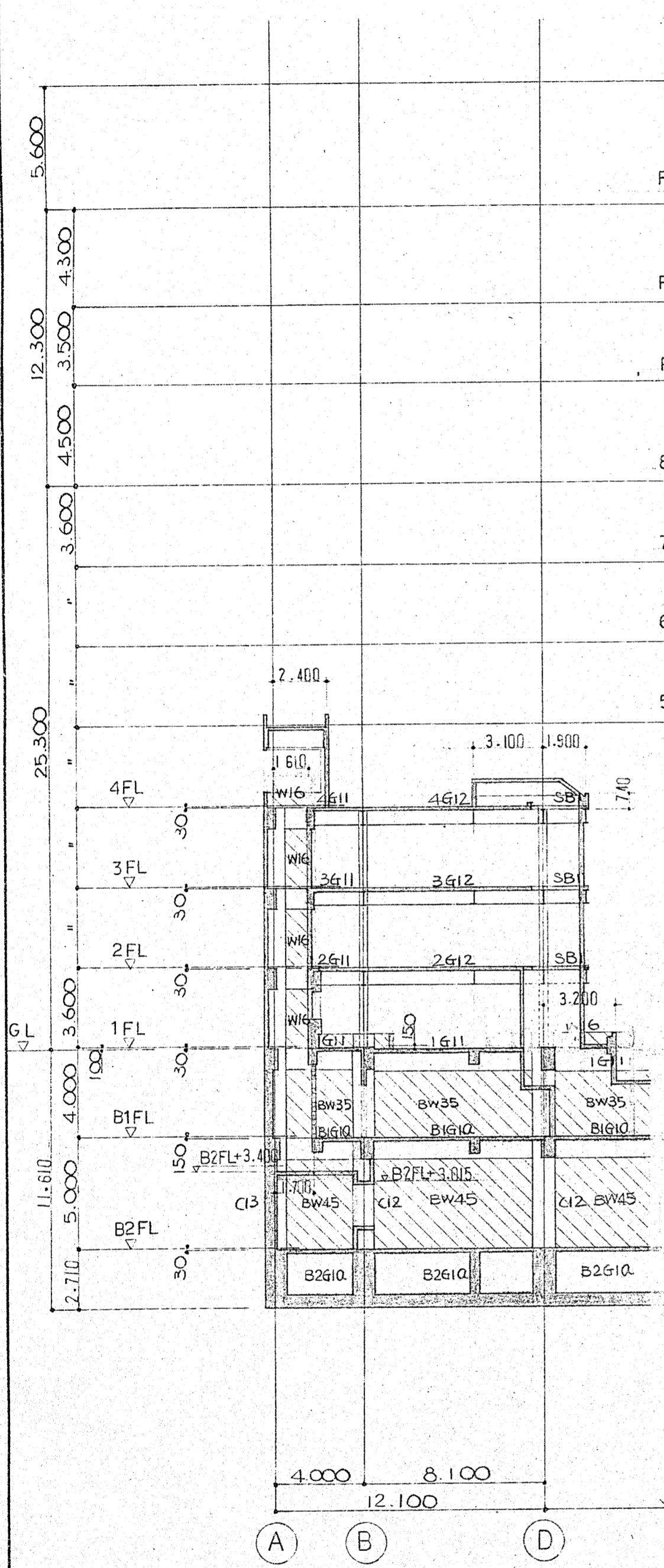
府中駅北口市民施設(仮称)新築工事



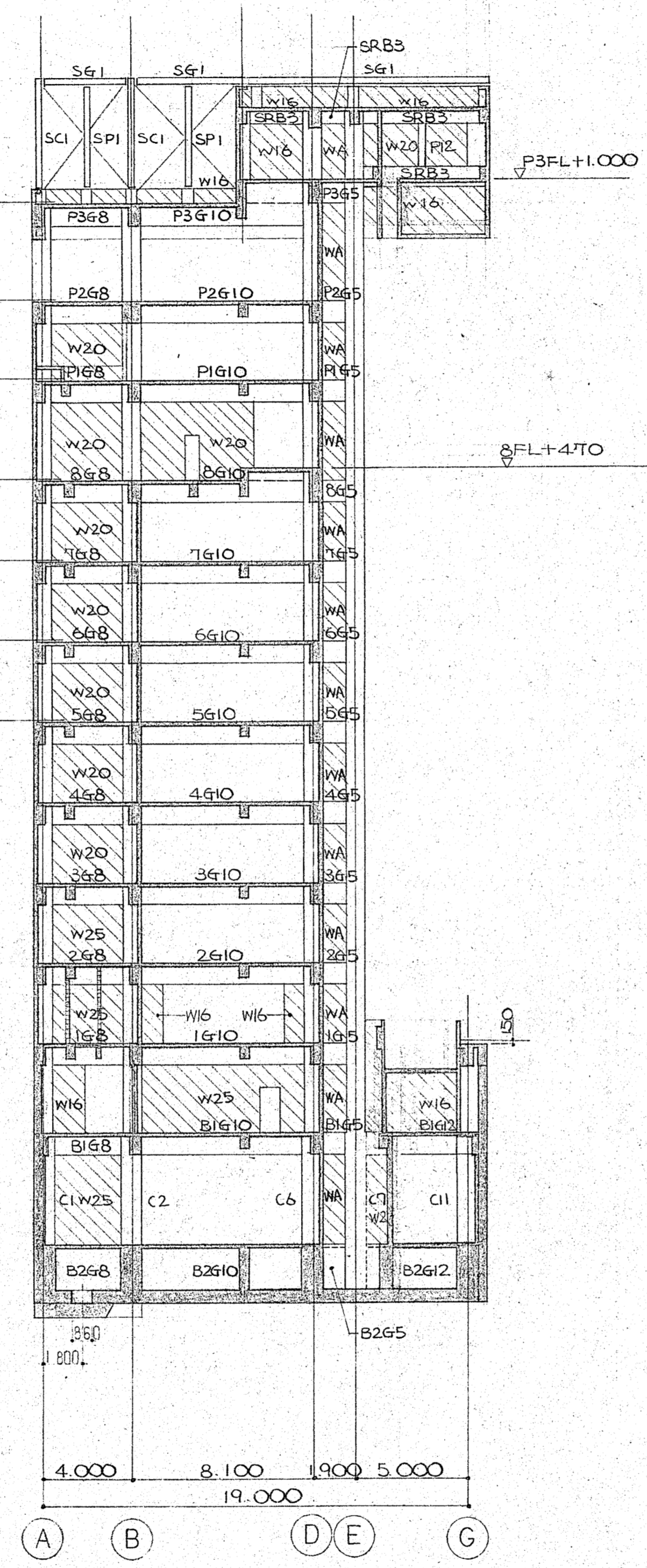
23

遂行面図(3) 21~22面 1/100 No. T-521122

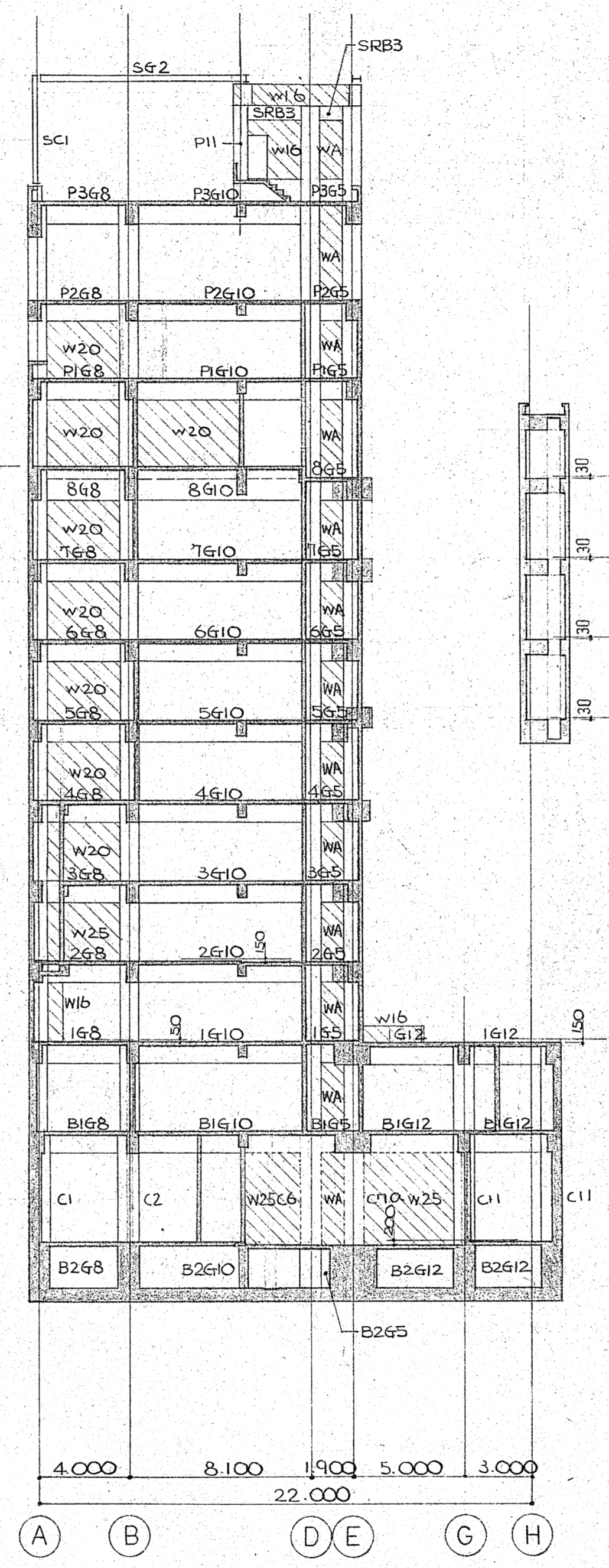
80x570



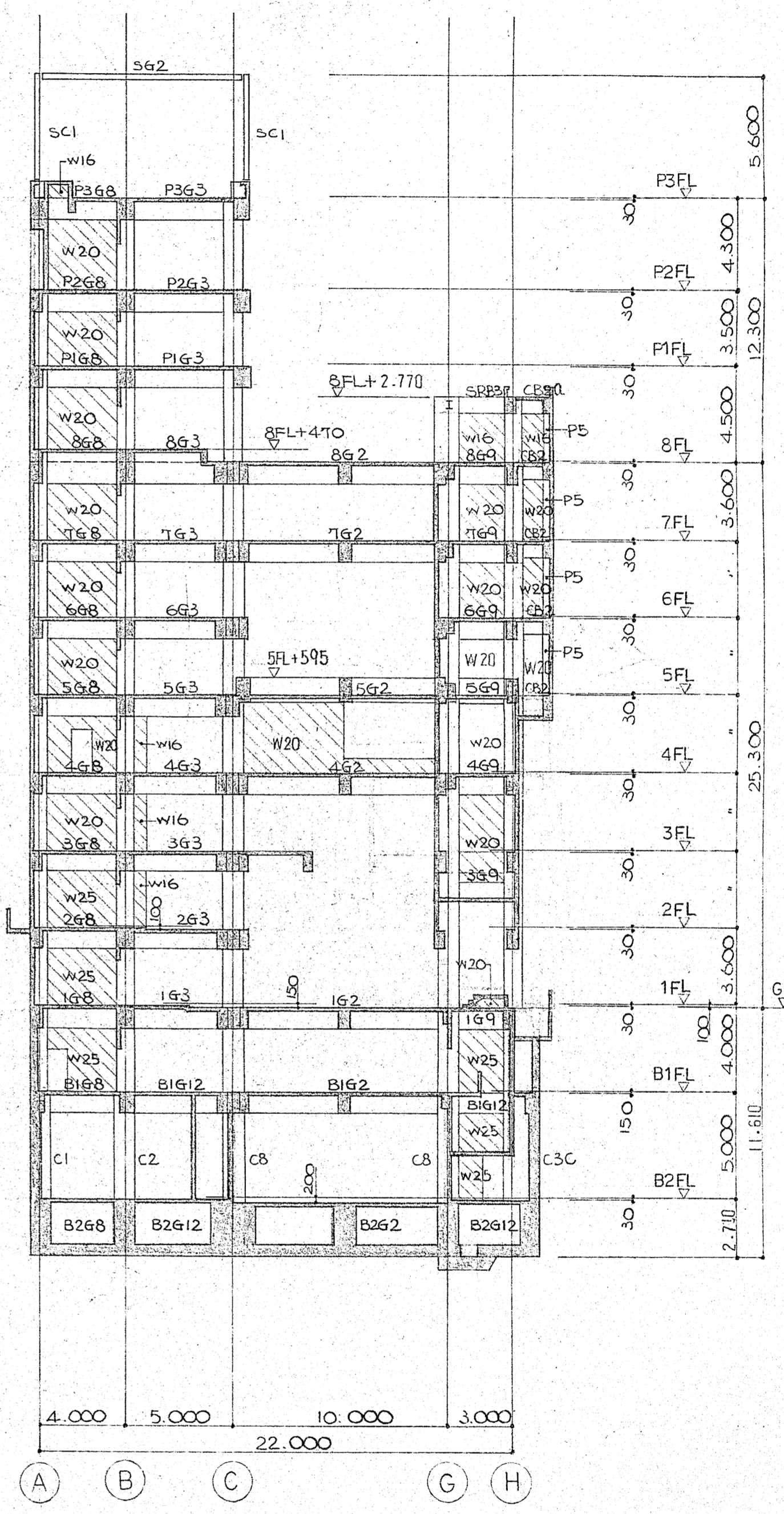
1通り軸組図



2通り軸組図

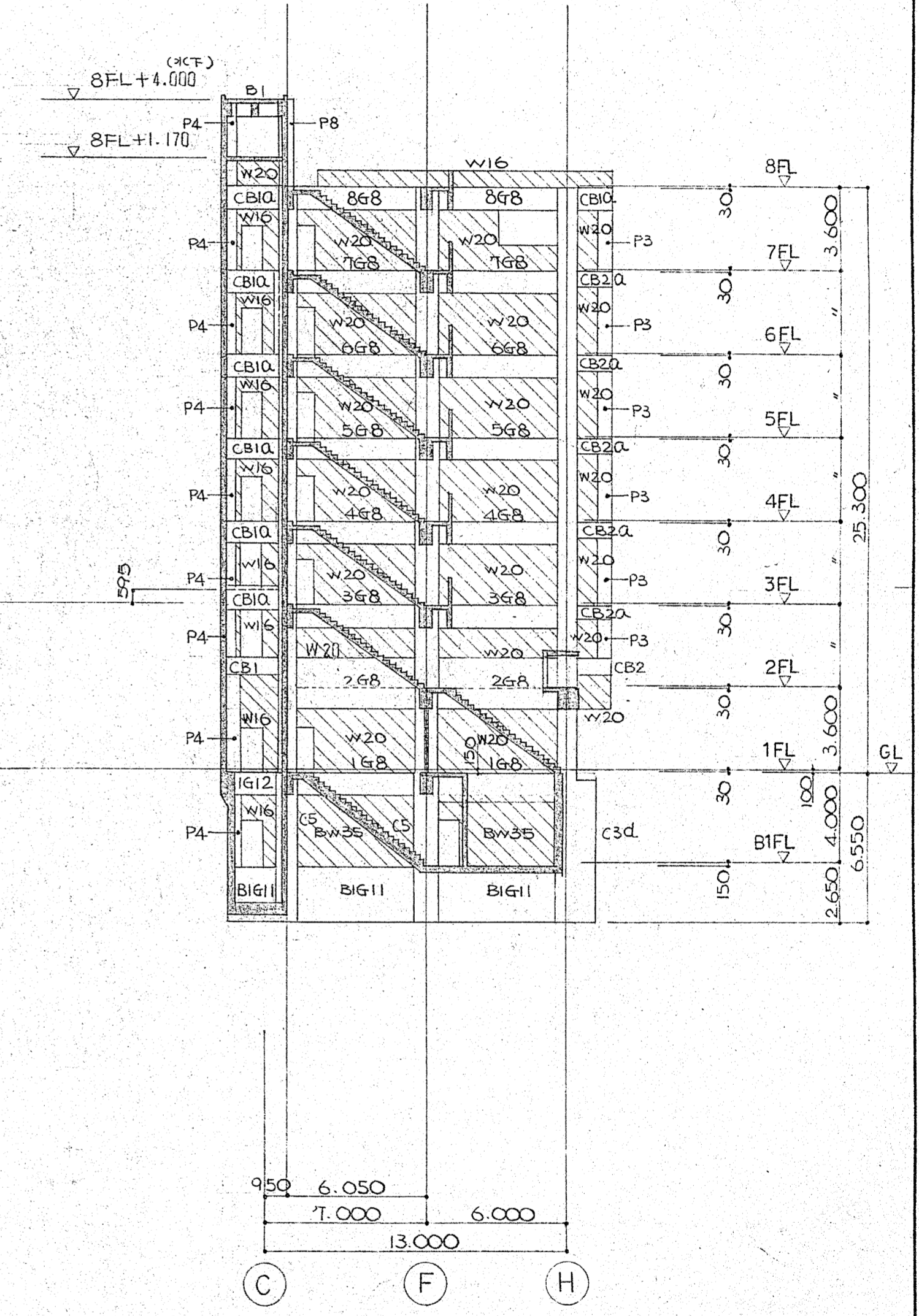
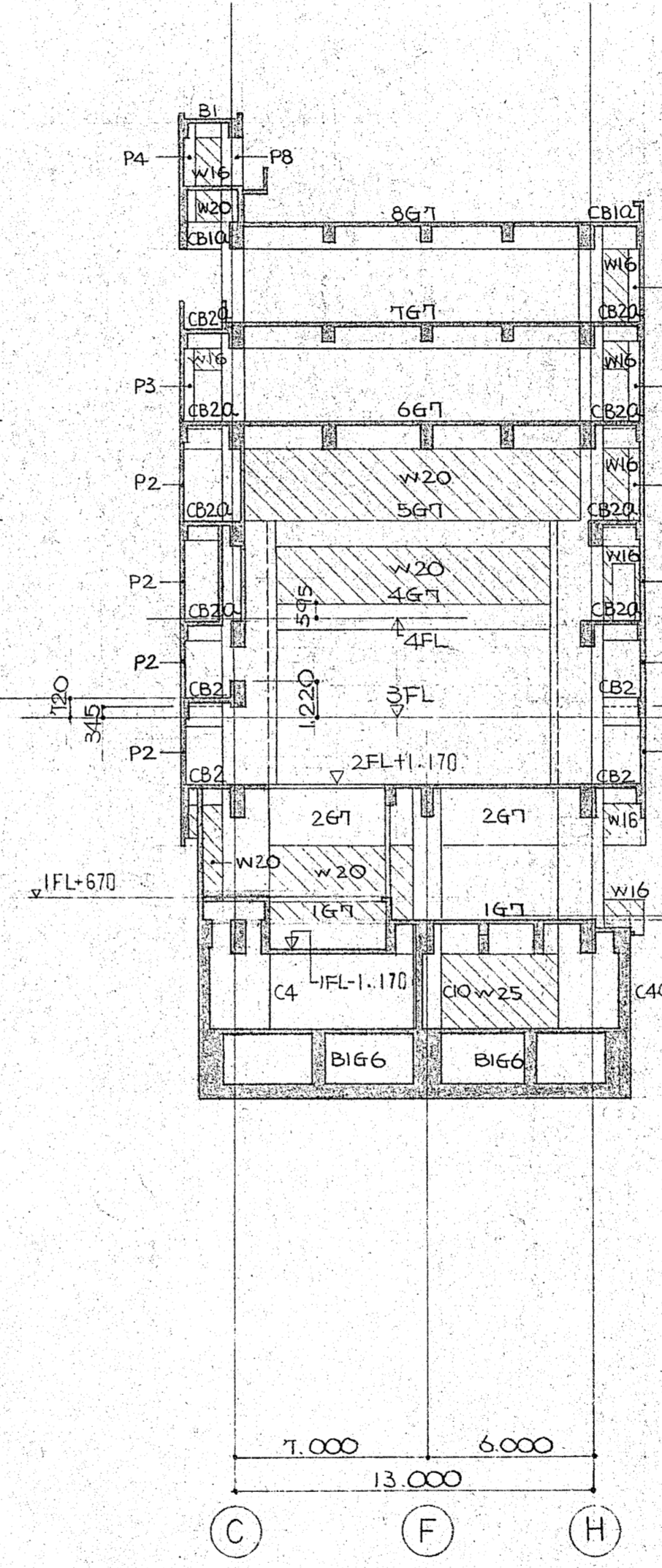
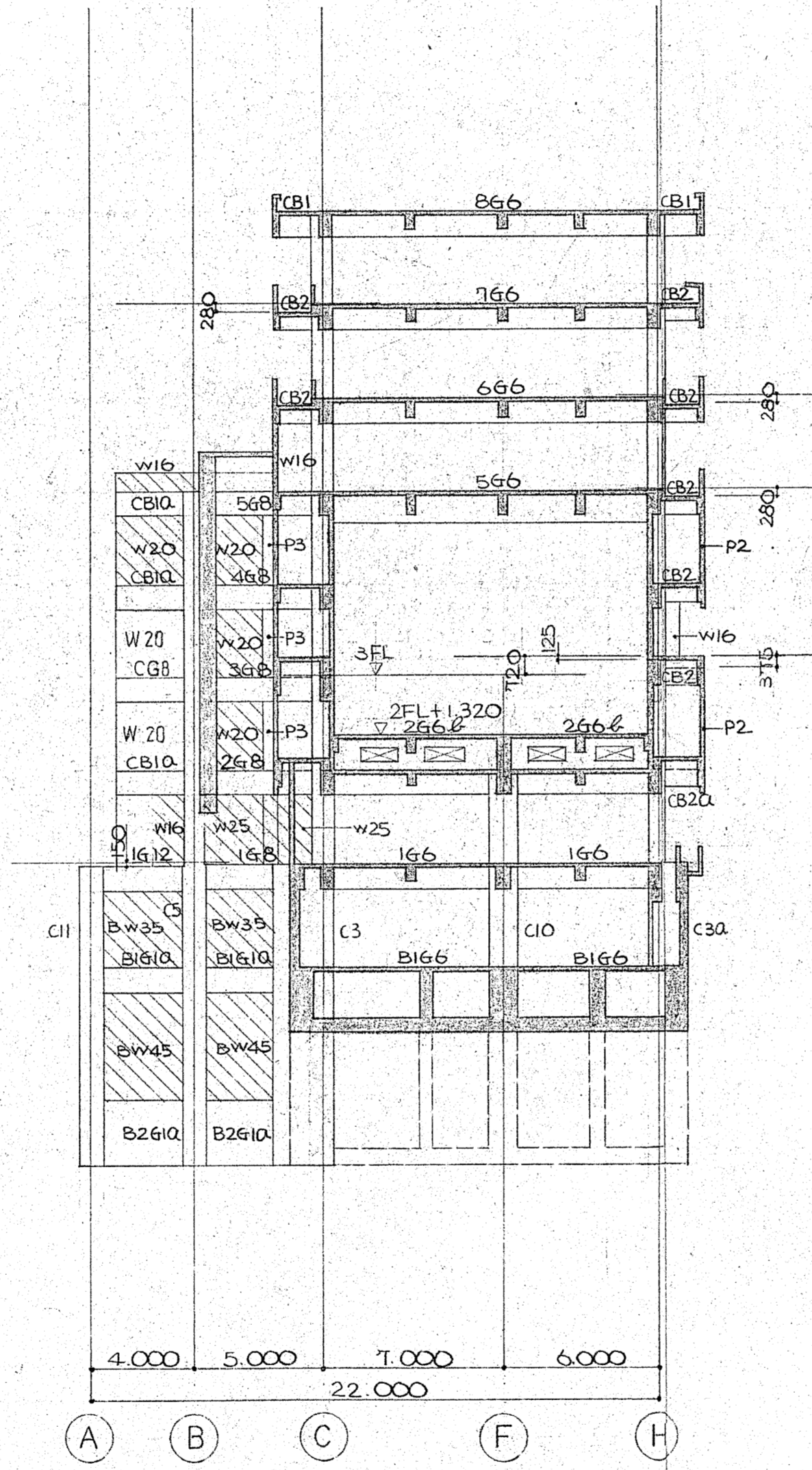
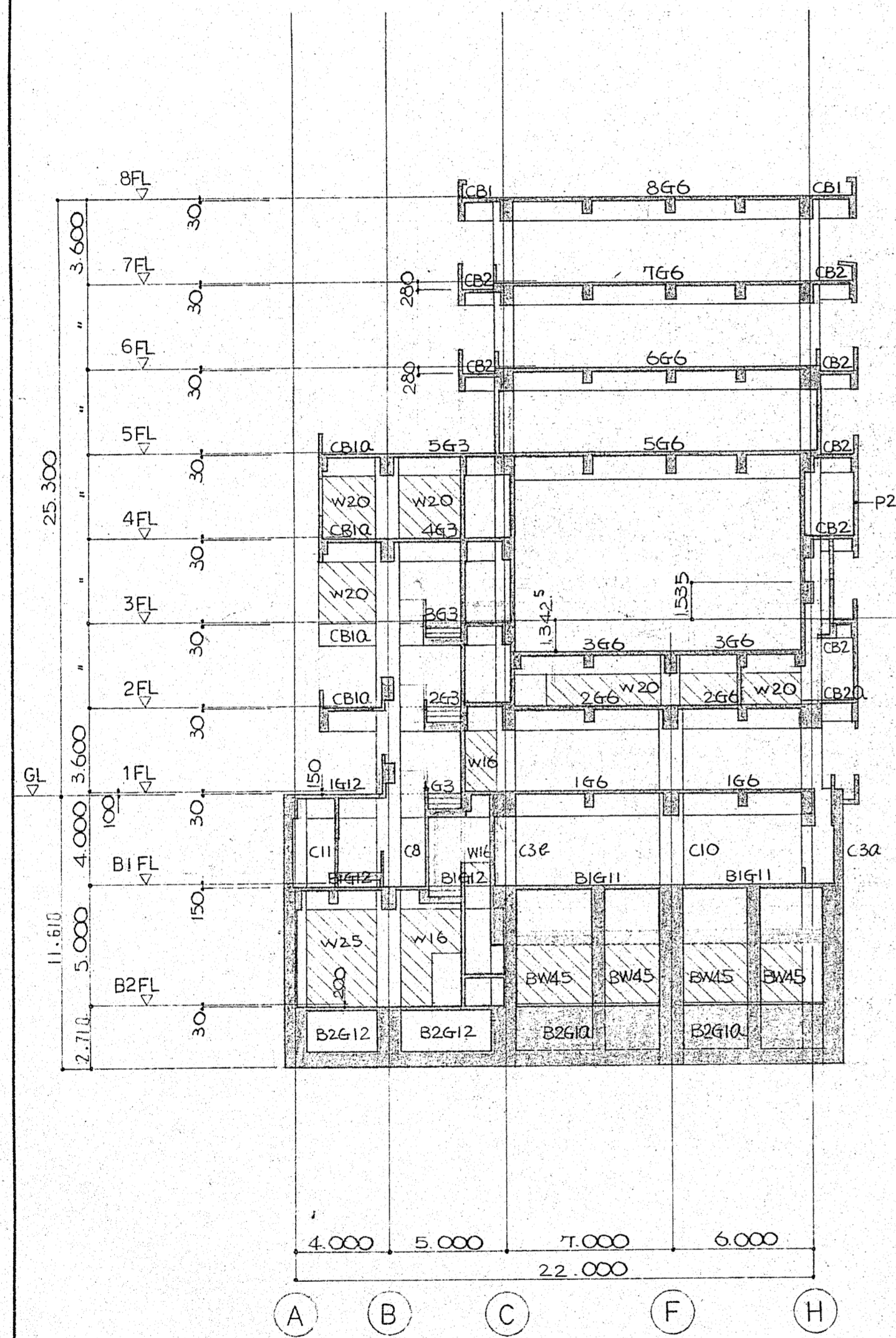


3通り軸組図



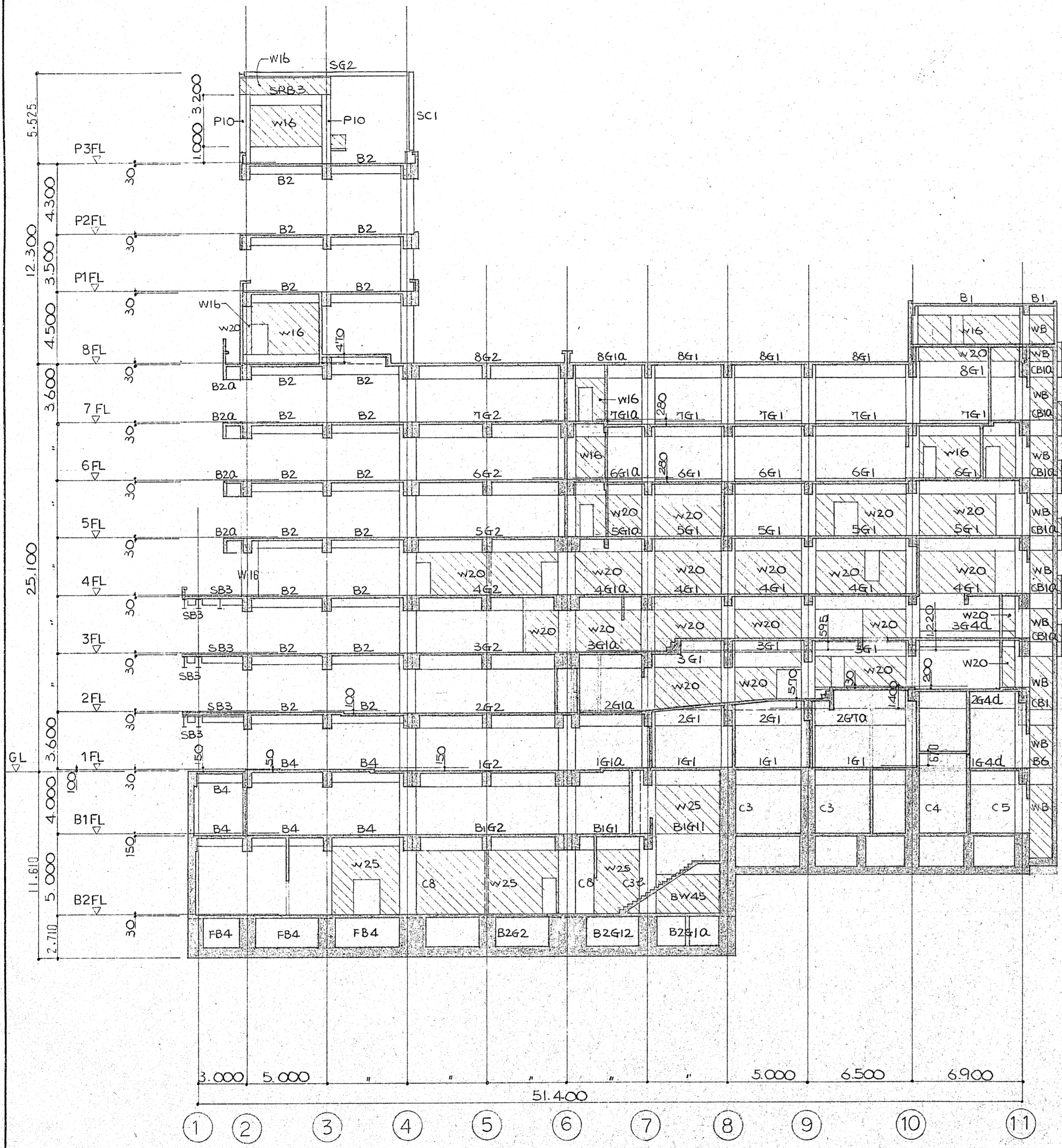
4通り軸組図

53. 1. 16. 54. 6. 13. 54. 11. 17. 55. 7. 30. 54. 11. 15. 53. 19. 16. 54. 10. 4. 54. 11. 15. 53. 10. 16. 53. 10. 16. 53. 10. 16.	54. 11. 17. 53. 19. 16. 54. 11. 15. 53. 10. 16.	府中駅北口市民施設(仮称)新築工事 36-06 車組図 (1) 1/200 No. T-521122-
---	--	---

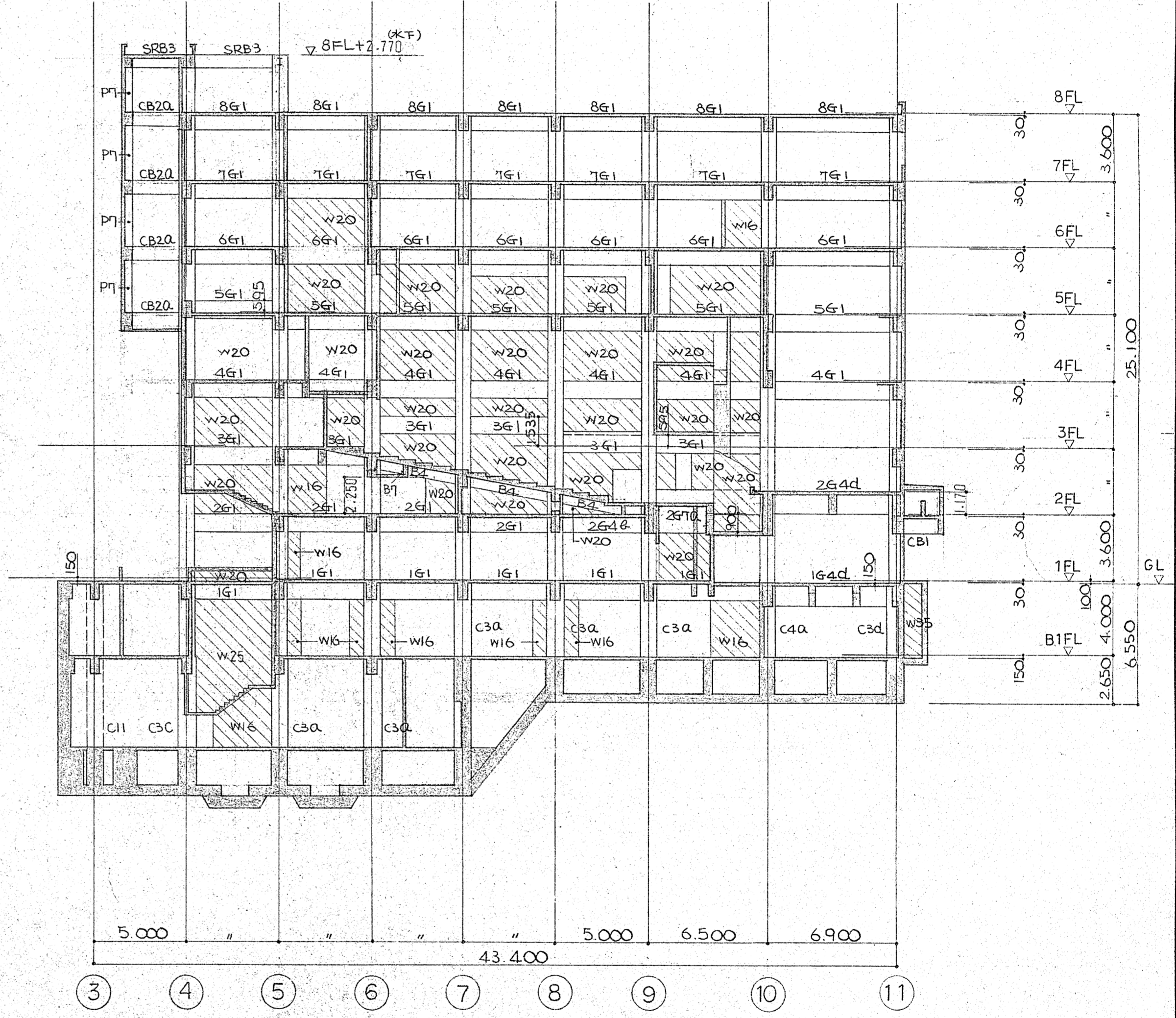


施工	53. 1. 16	54. 4. 15	1階C-11通間内天井工
竣工	55. 7. 30	54. 11. 17	1階C-11通間内天井工事完了
監理	55. 3. 29	55. 1. 25	1階C-11通間内天井工事完了
竣工	55. 1. 25	55. 1. 25	1階C-11通間内天井工事完了

780x570



C通り車由糸組図



H通り車由糸組図

設計	53. 1. 16	55. 3. 29	設計者 機械部 高橋
監理	55. 7. 30	55. 1. 25	監理者 佐川 繁俊
監理	53. 10. 16	55. 1. 16	監理者 佐川 繁俊 (57) (60)
施工			施工者 佐川 繁俊

180x570

地業工事

総則

○ 構造より先行の地業 (有・無)

既製コンクリート(地業)・鋼(地業)

くい種別	くい径・サイズ	くい先端位置	耐力(長期)

○ くい設置工法 ()

○ くい処理・くい部の補強工法及びくい先端詳細は () に示す。

場所打ちコンクリート(地業)・場所打ち鉄筋コンクリート地中壁地業

くい径・形状	掘削径	耐力(長期)

○ コンクリート (種類, 設計基準強度, 所要スランポン)

○ 鉄筋コンクリート用鉄鋼・鋼材の品質 ()

○ くい部配筋・躯体との場合は () に示す。

○ 工法 ()

地盤改良地業

○ 地盤改良地業の目標値・要領・施工順序

砂・砂利・割ぐり・捨てコンクリート地業

○ 直挿式振動式の埋り方 (長期) (50 %)

地業名	仕上り厚	施工範囲
砂地業	60	基礎スラブ・土間コンクリート
砂利地業		
割ぐり地業		
捨てコンクリート地業	50	基礎スラブ・土間コンクリート

○ 捨てコンクリートの設計基準強度は 135 %_{cm} とする。

鉄筋コンクリート工事

コンクリート

種別	適用区分	設計基準強度	所要スランポン	所要空気量	所要空気量	所要空気量	所要空気量	所要空気量
普通コンクリート	躯体(1層以下)	210	2.3	18	4			特許品
普通コンクリート	躯体(1層以上)	210	1.9	18	5			特許品 1種
普通コンクリート	外構	180	2.3	18				特許品
普通コンクリート	土間コンクリート	135	2.3	15				特許品
	防水層コンクリート	150	1.9					特許品 1種

○ 用のあるものは、該当箇所の化粧打直しコンクリートにも適用する。化粧打直しコンクリート面の級別は (A・B) とする。

○ (注2) 躯体コンクリートに於ては、AE減水剤標準型を使用する。
○ 基礎(1層以下)には、地中の状況により水切りを要する。

鉄筋

呼び名	品名	継手工法	JIS規格品名
D19~D25	SD35	ガス圧接(部分物に僅かなる継ぎ手併用)	JIS規格品
D10~D16	SD30	溶接継ぎ手	
10mm以下		溶接継ぎ手	

○ ガス圧接は JIS-Z-3381 に (1・2) 種 両規格とする。

○ 圧接工の検査規定は (有・無) 「日本建築学会 溶接作業規程 III (ガス圧接) 3.2 圧接工の検査規定」に準ずる。

○ 鉄筋の加工寸法・形状・寸法公差及び鉄筋の組立順序・継ぎ手の直長・定長は「標準配筋図」に示す。

○ 鉄筋の材料試験
品質を把握する鉄筋に対しては、下記要領による圧縮性試験を行い、そのメカニカル特性の判別材料とする。
(注1) 試験片本数は、各径ごとかつ100個以上引張り試験用・曲げ試験用各5本ずつとする。
(注2) 圧縮性試験は JIS-Z-3381 (1) に 2種有資格者以上による圧接を条件とする。
(注3) 圧縮性試験は、JIS B 616 係員の指示による。

型枠

○ コンクリートの打上り荷重 (A・B・C) 級

鉄骨工事

鋼材 (前項とは JIS規格とする)

品質	使用鋼材の名称
SS41	鋼板(厚さ12mm以下)・角鋼・棒鋼
SM50A	鋼板(厚さ12mm以上)
SSC41	厚板形鋼
SCW50-CF	Gコラム又はSNコラム
STK41	スリーブ補強用鋼管
	鋼材スタッド

アンカーボルト (形は図示による)

品質	使用サイズ
SS41	M20

○ アンカーボルトに使用するナットは 2重ナットを用いる。

接合部

○ リベット使用の場合、材質の品質は SV4/A JIS規格品とする。使用サイズは図示による。
○ ナット使用の場合、材質の品質は SS41 JIS規格品とする。使用サイズは図示による。
○ 高力ボルト使用の場合は下表による。

名称	ボルトの種類	ボルトの機械的性質による等級	使用サイズ
JIS系高力ボルト	1・2・3	A・B F8T・F10T・F11T	
○ 物産型高力ボルト	1・2・3	A・B F8T・F10T・F11T	M20・M22
クワッド高力ボルト	1・2・3	F8T・F10T・F11T	
	1・2・3	F8T・F10T・F11T	

○ 高力ボルトの製品検査は JIS-B-1186 の規定により行なう。ただし、製造所の品質管理が JISの規定より十分に管理されていることと確認された場合は、係員の指示により試験の種別・本数を適宜に減らすことがある。

○ 厚板面への張り検査試験は、現場での施工条件に適合した試験片で行う。
○ 厚板面の処理は、張り検査率が 0.46 以上となるよう行う。

溶接工の検査規定付加試験

○ 溶接検査規定付加試験 (有・無)
○ 試験場所は、(株)建設検査センター(株)検査センター(株)建設検査センター(株)検査センターによる。
○ 受検人数は当該工事における製作トン数、製作工期等勘案し、必要に応じて人数を変更する。
○ 試験は 1人の溶接工が下記に示す 2種の試験片を各1枚ずつ合格しなくてはならない。また溶接工が当該工事で作業する溶接方法(半自動溶接)と溶接工検査規定付加試験で合格した種別と同じでなければならぬ。
○ 2種の試験片を各1枚ずつ合格する。

種別	試験片の品質	試験片の枚数	その他
○ A種 (1・2)	SM50A	各1 / 個	
○ B種 (1・2)	SS41	各1 / 個	
○ C種 (1・2)	SM50A	各1 / 個	

○ 試験に使用する溶接機は、本工事に使用するものを使用すること。
○ A種(1・2)については超音波探傷検査を併用する。

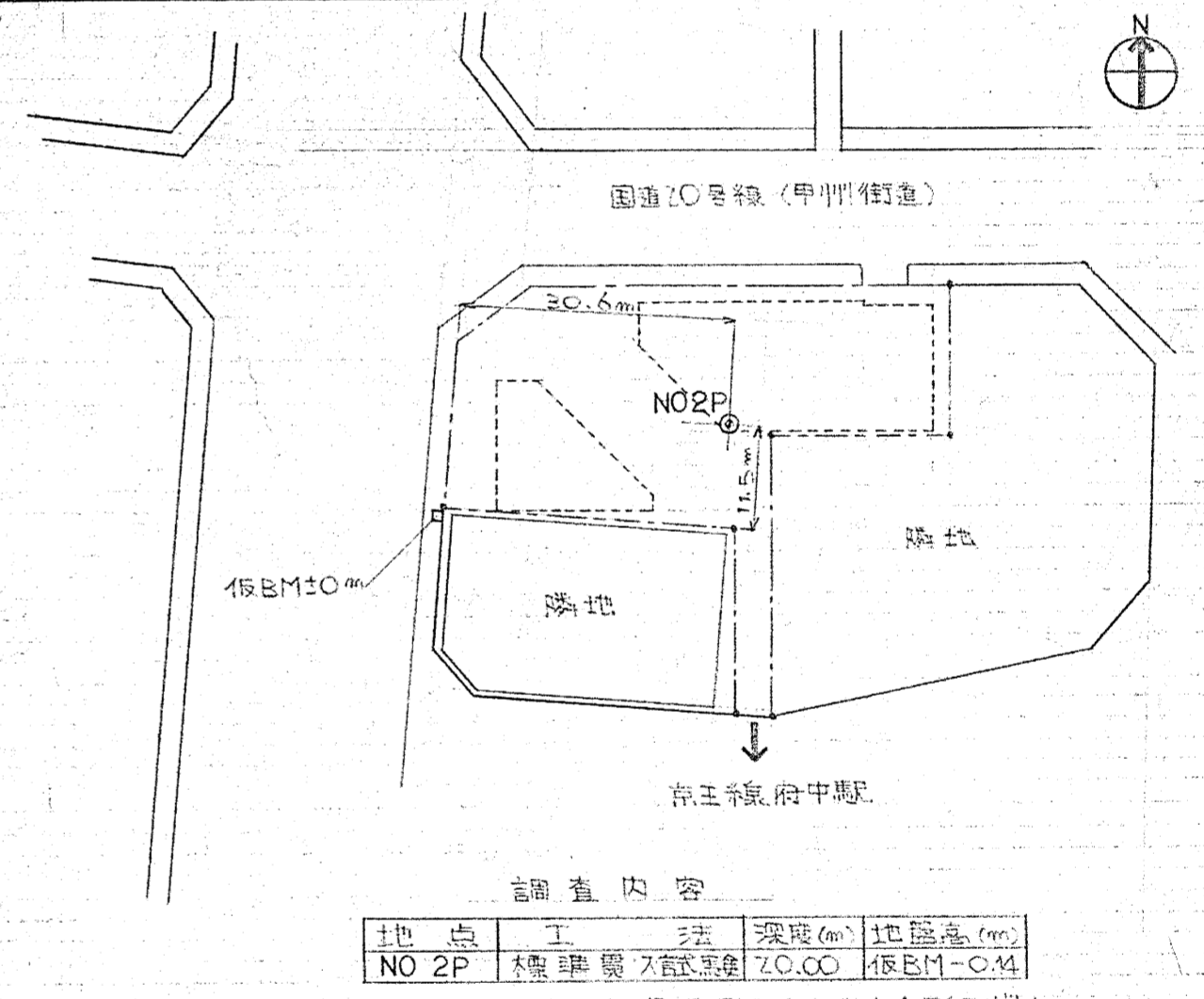
防錆塗装 (コンクリートと接触する部分に於ては適用)

○ 防錆塗装 (有・無)
○ 防錆塗装 (JIS-K-5522) (2回塗り) 現場塗装 (JIS-K-5522) (2回塗り)
○ 高力ボルト接合部及び埋込部等の防錆塗装は、上記と同様の性能となるよう施工すること。
○ 埋込部用スリーブの内面には、工場塗装を行う。
○ 底面等に対しては素地をこすり出し、A級工場塗装 (J-K5622 2回塗り) とすること。

溶接部の検査

○ 標準仕様書 6.4.7.b の内、超音波検査は第三者(検査専門会社)による検査と規定する。なお、その社内検査技術者による検査の場合、係員の承認を得ること。その場合、検査技術者は NDI-1級 有資格者とする。ただし、1級技術者の指導のもとに作業する場合に限り、係員が承認した2級技術者によることとする。
○ 標準仕様書 6.4.7.b の内、検査方法は、主産ロット (同じ条件で生産された品物の一群) とは、検査時と同一の検査方法 (検査ロット (検査の對象となるひとりの検査単位) として、検査率は全受合溶接部数 (1箇所の検査対象長さ 300mm 以下と 1個とし、300mm を超える場合は 300mm 毎に 1個と検査する。又、ここで言う 1個とは検査単位とする。) の (10%) 以上とする。検査ロットの割合率は、検査単位の不合格率が 5% 以下であれば合格とし、5% を超えた場合は 10% の検査率で行い、前回の検査と合計に不合格率が 5% 以下であれば合格とする。なお、これを 5% を超える場合は 10% の検査率で行う。
○ 標準仕様書 6.10.2.d.2 の規定として、係員の検査を受ける時の検査方法は、上記主産ロット (検査ロット) に行う。検査ロットがない場合は、又は検査ロットが 1個であれば合格は係員と協議する。
○ Gコラム (又は SNコラム) の埋込部 (溶接部) に対しては、全数と現場にて超音波探傷検査を行うこととする。

孔内寸法	深さ	記号	標準貫入試験					備考
			10	20	30	40	50	
0	0							
1	1		4					1.5m 以下 10mm 程度の硬さのコンクリート。標準貫入試験の結果から、1.5m 以下 10mm 程度の硬さのコンクリートと見られる。
2	2							
3	3							
4	4							
5	5							
6	6							
7	7							
8	8							
9	9							
10	10							
11	11							
12	12							
13	13							
14	14							
15	15							
16	16							
17	17							
18	18							
19	19							
20	20							
21	21							



本特記仕様は 標準仕様書における特記事項であり、各章の一般的な規定に優先する。